

双頭デイルドとペニバン



キムク文庫

双頭デイルドとペニバン

キンク文庫

127ページ

【当画像集に掲載されている画像の、無断複写・転載・使用はかたくお断りします】





「これ一応、おもちゃじゃなくてよ
——さあ早いと」「脱ぎなさい」



「ふう〜」

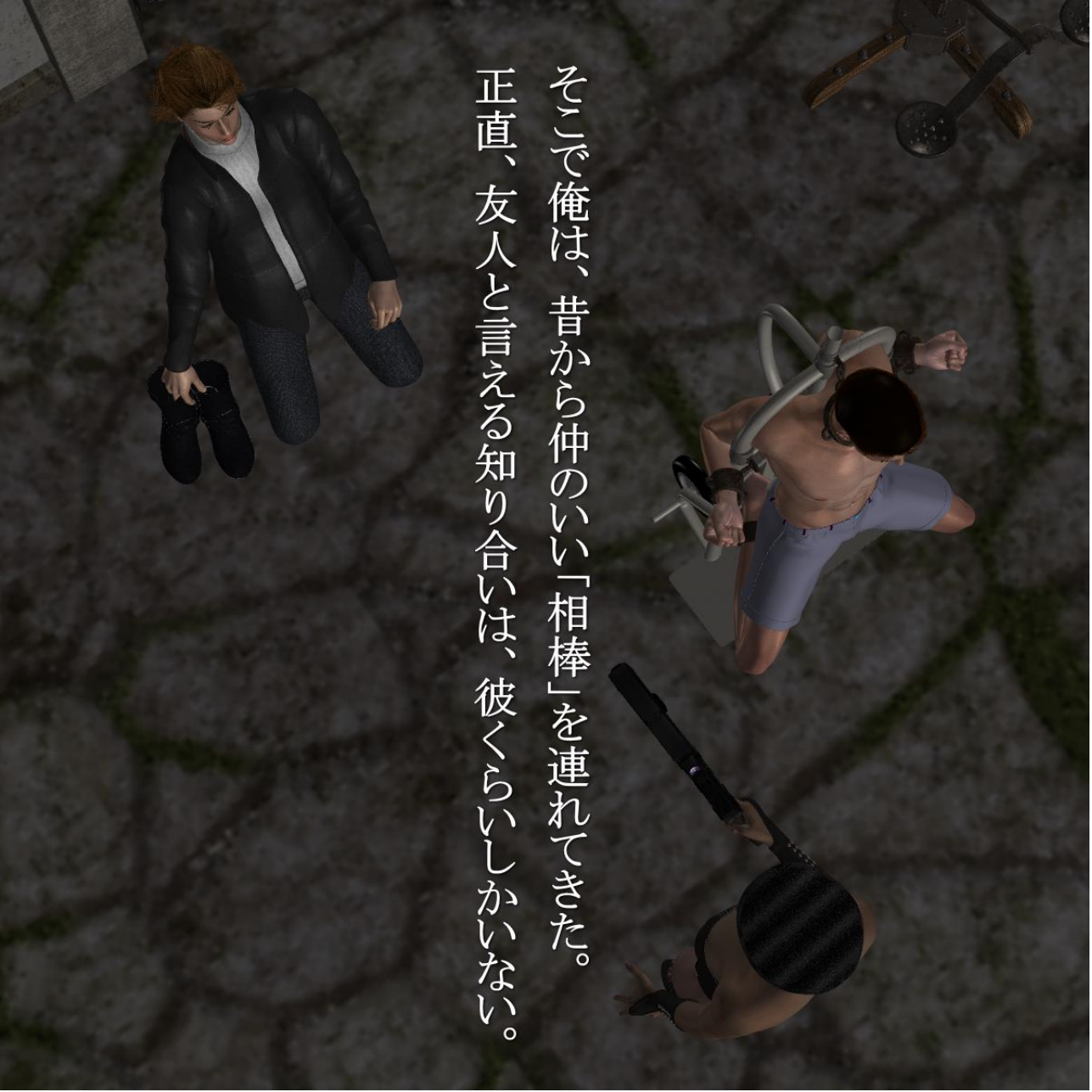
今日は俺の相棒を騙さなくてはなりません。
これもミストレスの命令です。




しかし俺よりイケメンな相棒のことを、ミストレスは
気に入ってくれただろうか……。



俺より従順な奴隷は居ないとは思うけど、
ミストレスを十分に満足させられるような
奴隷を連れてこいとの命令。



そこで俺は、昔から仲のいい「相棒」を連れてきた。
正直、友人と言える知り合いは、彼くらいしかいない。



「騙した」と言うべきかもしれない。

とはいえ——相棒のことだ、

俺と同様、ココの虜になると思う。



「今日が初めてだからって手加減はしないわ」

「初めてだから、ちよつと手荒くすることはあるけどねえ」